

R2年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	TAC井出山スポーツパーク				
所在地	生駒市小平尾町1766番地・956番地1、東山町201番地21				
指定管理者名	株式会社 東京アスレティッククラブ	指定期間	開始日	平成 27 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 7 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 6 年目		
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など				
主な実施事業等	・TAC井出山スポーツパーク（屋内温水プールきらめき・体育館・グラウンド・テニスコート）の維持管理・運営 ・屋内温水プールTACきらめきを活用した会員制スポーツクラブの会員や、公共施設としての都度利用者への各種サービスの提供				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
きらめき（会員利用人数）	人	106,918	64,519	66.5%	2020/3/8~6/30まで臨時休館
きらめき（一般利用人数）	人	21,750	11,055	48.4%	2020/3/8~6/30まで臨時休館
体育館（会議室含む）	人	16,135	16,272	85.9%	2020/4/11~5/24まで臨時休館
グラウンド	人	13,518	11,048	66.4%	2020/4/11~5/24まで臨時休館
テニスコート	人	31,408	30,111	60.9%	2020/4/11~5/24まで臨時休館

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	133,702,000	115,371,848	134,193,721
指定管理料		0	0	0
利用料金収入等	C	126,170,000	76,850,181	122,743,985
自主事業収入（物販等）		7,472,000	4,562,015	6,832,566
その他		60,000	33,959,652	4,617,170
支出計	B	133,702,000	115,373,019	134,018,454
指定事業費		101,006,000	89,025,136	95,276,924
うち人件費	D	61,177,000	56,876,916	58,229,468
うち再委託料等	E	39,829,000	32,148,220	37,047,456
自主事業費等		32,696,000	26,347,883	38,741,530
事業収支	A-B	0	-1,171	175,267
利用料金比率	C/A	94.4%	66.6%	91.5%
人件費比率	D/B	45.8%	49.3%	43.4%
再委託費比率	E/B	29.8%	27.9%	27.6%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	①コロナ禍での営業スタイルについて ②体育館予約方法について体育館の希望日時がバッティングしたとき1日で抽選を実施していたが、コマごとに抽選してほしい		①営業時間や内容の変更毎にホームページやFacebook、LINE、館内掲示にて案内。問い合わせについては丁寧に対応。 ②体育館の抽選について、独占を避ける為、施設利用内容の特性上、原則として1日のコマごとの抽選に対応。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に基づく臨時休館や時短営業は想定外であったが、事業計画書に基づき、概ね適切に運営できた。
市の評価	指定管理者として全国で数多くの施設の管理運営をされており、そのノウハウを活かしマニュアル化された適正な管理運営業務に努められた。また、応募時の事業計画書に則り、他の市内体育施設指定管理者とも調和を取りながら適切な管理運営がなされた。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	市外の利用不可や短縮営業等の条件での営業となった期間もあったが、丁寧に案内し営業することができた。
市の評価	新型コロナウイルスの影響により、営業時間変更や教室の休止など市との連携を図りながらご対応いただけた。会員の方への周知など、市民への平等な利用を確保していただけているので、今後も関係団体との協力・連携し、更なる利用者拡大へ期待している。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	コロナ禍の影響によりレッスンプログラム定員の変更等あったが、問題なく営業でき満足いただけた。意見に対しても適切に対応し、トラブルには至らなかった。
市の評価	ジムのプログラムなど利用者の意見を取り入れ、実践しているため、利用者から高い評価を得ていると感じている。施設内で発生したケガなどにも迅速で適正な対応をいただいている。また、体育館などの体育施設部分については、問い合わせの対応が迅速に行われていた。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	水光熱費削減のため日々の使用箇所、使用頻度を調整し削減できた。また、節水装置（JET）を設置し節水にも取り組むことができた。なお、コロナ禍による臨時休館や時短営業等に伴いスタッフの勤務シフトを適宜見直し、必要最小限の人数で運営することで人件費を圧縮している。
市の評価	独立採算制での管理運営であるため、電力の小売自由化などに伴い、経費削減に向けた取り組みがなされている。また利用者には不快な思いをさせない程度での節電も行われていた。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	折込チラシや紹介キャンペーン・短期水泳教室などを実施し会員獲得を図ったが、コロナ禍の影響により利用者、会員数の大幅な減少。また、休会者の増加により、大きな減収となった。
市の評価	新型コロナウイルスの影響による休会、退会者の増加が目立った。今後も新型コロナウイルスの影響を受ける可能性があるが、継続して折込チラシやキャンペーン等での会員増加を図っていただきたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	コロナ禍による臨時休館や時短営業等で勤務シフトの見直しを迫られたが、概ね適正な人員配置ができた。年間で研修も計画的に実施し、職員の能力向上に努めた。また、不定期ではあるが、草刈りや駐車場整備など環境改善への取り組みも実施できた。
市の評価	接遇研修、設備研修、救急法訓練（AEDを含む）、避難訓練などを適切に実施し、職員の能力向上に取り組んでいる。市事業である「小学生水泳競技大会」では運営に協力いただき感謝している。また今後も市内他団体との連携に期待している。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	コロナ禍の影響により、企画や予定していた各種イベントを実施することができなかった。各スクールについては、感染症予防対策を行った上で、昨年までと変更なく実施することができた。
市の評価	TAC井出山スポーツパークの中心的な施設である「屋内温水プールきらめき」でのスクール等、感染予防対策に留意したうえで開催していただいた。またコロナ禍のため中止にはなったが、例年と同様、多岐にわたるイベントを企画していただき、多くの世代へ向けた運動機会の創出を考えていただいている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	プライバシーマークの基準に合わせ個人情報の取り扱いの研修を実施し、マニュアルに基づいた運営ができた。また、事故発生に備え、従業員の消防訓練や救急法の研修も実施。さらに、新型コロナウイルス感染症予防に係るガイドラインを作成し、安全かつ安心を第一に施設を再開することができた。
市の評価	プライバシーマークを取得されており、自主的に高いレベルの個人情報保護マネジメントシステムが確立されている。またスポーツ活動は事故のおこる可能性が高く、プールにおいては特に命に係わる危険性も高いため、各種マニュアルに基づき、定期的に職員の研修も実施していただいている。なお、スタッフに新型コロナの感染者が出た際には、市と密に連絡調整を図り迅速かつ正確に対処し、感染症の伝播リスクを最小限に抑えている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	指定管理料を伴わない独立採算制で実施してきたが、新型コロナによる休館等の影響による収入減により市より施設の維持管理経費をいただき事業を継続することができた。収入・会員ともに大幅な減少があり、大きな打撃を受けた。
市の評価	独立採算制での指定管理となるため、様々な工夫や取り組みをされているが、今後も利用者を第一に考えた施設管理を心掛けてもらいたい。また、新型コロナウイルスへの対応についても、市との連携を図り、柔軟な対応をとっていただき、非常に感謝している。

6 指定管理者の財務の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産	4,051,531,075	4,110,401,544	4,400,649,203
流動資産	1,255,659,142	1,331,714,620	1,613,597,790
固定資産	2,795,871,933	2,778,686,924	2,787,051,413
負債	3,799,851,823	3,830,162,351	4,392,625,796
流動負債	821,681,823	838,311,351	727,382,796
固定負債	2,978,170,000	2,991,851,000	3,665,243,000
純資産	251,679,252	280,239,193	8,023,407
資本金	50,000,000	50,000,000	50,000,000
売上高	4,439,305,551	4,613,228,663	4,010,527,090
経常利益	60,696,816	67,567,483	-15,709,076

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自己資本比率 純資産/資産×100	6.2%	6.8%	0.2%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	1509.8%	1366.7%	54747.6%
固定比率 固定資産/純資産×100	1110.9%	991.5%	34736.5%
流動比率 流動資産/流動負債×100	152.8%	158.9%	221.8%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	86.6%	84.9%	75.9%
総資産回転率 売上高/資産×100	109.6%	112.2%	91.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.5%	1.6%	-0.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	指定管理者として6年が経過し、新型コロナウイルス感染症という大きな影響を受け、収入・会員数・利用者数と大幅な減少があり非常に厳しい1年であった。市と連携を取りながら臨時休館や営業スタイル変更等あったが、大きなトラブルも無く運営できた。会員数・利用者数の回復が今後と課題となるため、利用者が満足できるしかけやイベントを実施し、運動を始めるきっかけづくりをしていきたい ハード面では、施設が11年ということもあり経年劣化による故障が増えているため、日々の点検を適切に行い、また、故障箇所については迅速に対応をしていき、運営に支障が出ないよう対応していきます。
市の評価	自主事業のほか、市内総合型地域スポーツクラブや他の市内体育施設指定管理者との連携を図っていただき、本市スポーツの発展に寄与いただいていると感じている。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、TACきらめきの臨時休館や営業時間短縮等を行ったが、会員等への迅速な連絡など、適切な対応を取っていただいたことにより混乱やトラブルの発生なく、運営いただいたことに感謝している。今後も様々な自主事業を通じた利用者の拡大やサービス向上による、市スポーツの更なる発展に寄与いただけるよう期待している。